

## 価値観を理解する

(原文)

三木 瑚子 (17 歳)

兵庫県

武庫川女子大学附属高等学校

私は創作ダンスという部活をしている。創作ダンスは自分たちの考えや思いを踊りにして表現するというものです。ひと作品を作るのにたくさんの時間と労力を使いギリギリまで悩みながら作り上げていきます。

作品を作る中で一番大切なことはなんだと思いますか？

それは自分が生活している中で感じること、思うことすなわち価値観を作品にすることです。

見ているひとを、感動させる共感させる作品を作るためには、自分が具体的に伝えたいこと、表現したいことをわかっていないと伝わりません。なので私は創作ダンスを通して「価値観」とはなんなのかを人より多く考えているのではないかと考えています。

創作ダンスは、まず題名とその解説 (40 字) を決めるところからスタートします。題名を決めることが最初の難関であり、最大の難関です。作品を見るにあたって一番初めに見るのは題名であり、いわば第一印象です。題名を見た時におもしろそうと思わせる題名そして自分たちが具体的にどんなシーンを作るかなどが湧き出てくるような題名でないと動きや構成を作るのにすごく苦労します。なので私は今生活している中で一番しんどいことをまず考え、次に伝えたいことを考えるようにしています。

例えば周りからの視線が気になって自分を出せないなどの日頃の悩みや、SNS 問題、スマホ中毒など社会問題まで様々でその中で自分がもっとも共感できるものを探していきます。この作業をしていると部員みんなで意見を共有した時に全然違った角度の伝えたいことが出てくる時があります。自分では絶対出てこない言葉や考え方が多種多様にあり、この人は普段こういう風を感じて過ごしているんだなと、思ったりこんな考え方があったんだと感じ、自分がすごく偏った視線で見ていたなと新たな発見をすることがあり、すごく勉強になります。

意見を共有する機会があったからたくさんの選択肢が生まれるようになったり、人の思っていることを少しでも理解しようとするようになりました。

しかし意見を共有する機会は、普段生活していてなかなかあるものではありません。そのため起こるのが誤解や決めつけによる批難や誹謗中傷です。誹謗中傷で、たくさんの悲劇を起こしているのに、一向に無くなる理由もここにあると思います。自分の見たものだけを真実とし、自分の価値観が正解だと思い込みその外れたものは悪として認識し鋭い言葉を投げかける。

生きている人が、価値観は人の数だけあることを理解し、価値観に正解も不正解もないことを自覚しなければ無ならない問題であると思います。

私が大切にしている「価値観」は人の価値観も理解するということです。それは間違っていると思っただとしても、その人にとっては正解です。それを否定してみんなが同じ価値観にするのではなく、それもひとつの選択肢として考えられるようになれば、もっと道は開けるし、可能性が無限に広がるのではないかと考えます。みんなが理解することを少しずつでもしていけば、戦争も誹謗中傷もない世界になれるのではないのでしょうか。まずは近くにいる人を理解するところから始めませんか？